



親しみやすい養老公園を目指して



3月10日(木)に養老公園にて、動力付き歩行支援具^{クララ}curaraの体験会を開催しました。現在、町では来訪者層の拡大を図るため、歩行支援具を貸し出すことで歩行に少し自信がない人でも気軽に来てもらえるようにと願い、実験を重ねています。

支援具を装着して公園内を散策した参加者と意見交換をすることで、目的を達成するためにはどうすべきか検討しました。参加者からは「装着して歩くと息切れせずに歩くことができた。他の人にもぜひ勧めたい」といったプラスの意見がある一方で、「平坦な道から坂道へさしかかった時に歩きにくくなる瞬間がある」などの今後の課題となる意見も出ました。今後、さらに実験を重ね、実用化を目指していきます。

観光シーズンの安全を祈願して



3月21日(月)に日本の名水百選である「菊水泉」から湧き出る水をくみ取り、養老神社などに献水し、観光シーズンの安全を祈願する「若水取り」が行われました。今年も昨年に引き続き、関係者にて神事のみ行いました。

町観光協会の中村一会長は「40年以上続く伝統行事を今年も行うことができ、感謝しています。昨年同様、関係者のみでの開催になってしまい、非常に残念ですが、皆で協力して町の観光を盛り上げていきたいと思っています」と話しました。

100年先の養老公園のために

岐阜県観光景観林整備事業の一環として、桜・紅葉の名所として知られている養老公園周辺で、森林の間伐および桜・紅葉の植栽を実施しました。

じっくり年月をかけ、養老公園周辺の景観としての価値をさらに高めることで観光客を呼び込み、地域の活性化を推進し、公園を訪れた観光客に喜んでもらうため、今後も整備を進めていきます。

